

(議事要旨) 社会資本総合整備計画⑤

「長浜港における防災機能の向上(防災・安全)(重点)」の事後評価

●委員

緊急時、災害時に物資を大量に運ぶ大型の船舶は滋賀県にあるのか。

○流域政策局

輸送専用の船舶は無い。今あるうみのこやビアンカでできる範囲で輸送するほか、工事用の台船があるので、そういったものを活用することを想定している。

●委員

大量の物資を運ぶ必要があるのに、船がないのは不安に思うがどう考えているのか。

○流域政策局

台船を持つ業者が2社おられて、災害時の協定を結んでいる。災害時には台船を出してもらうことができる。トラック等、車を乗せて運ぶことができる。陸路が絶たれている場合は湖上もあるということで地震が発生した場合の状況に応じて活用していく。

●委員

安心して利用できる港湾が無いのにその先のことはできないと思うので、ここが一丁目一番地なのかと思う。普段、学習船として使っているものも非常時にはどのように使っていくのかという判断も必要なるかと思う。

●委員

災害時に港湾に物流を運ぶまでの道はこれからの整備か。それとも計画にある程度見込まれているのか。

○流域政策局

物流については緊急時の輸送道路が指定されている。道路が被災した場合、道路の復旧は比較的早くできるので、港湾への経路を確保して輸送する。

○次長

災害時に向けて緊急輸送道路ネットワークを計画している。防災活動の起点となるものに通じる道路は重要物流道路という指定しながらネットワークを整備している。一方で西と東を通じる道路は、特に湖西の方は少なく、これが寸断された場合は琵琶湖を利用しながら輸送することを防災計画で考えており、それに向けた港湾の耐震改修である。

●委員

能登の地震の調査に行ったがインフラが線状にしか伸びていないという問題があった。

琵琶湖の場合も袋小路になる地域が思い浮かぶ。啓開を行っていくときに物流の能力が必要になり、まずは高速道路等の高規格道路があるが、それも被災することもある。船舶をどうするかといった問題はあるが、そこさえクリアできれば琵琶湖がいかなる方向へも物資輸送が可能になる強みになる。そのためには地震時にも壊れない港湾が必要になるということでストーリーはつながっているように思う。物が来ないというのは大変なことになる。特に建設機械が来ないと復旧できない。総合的に防災力を高めていただきたい。

以上